



アーキテクチャ図

AWS での並列 API コンポジション



AWS での並列 API コンポジション: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

並列 API コンポジション i

AWS での並列 API コンポジション 1

詳細情報 2

図の履歴 2

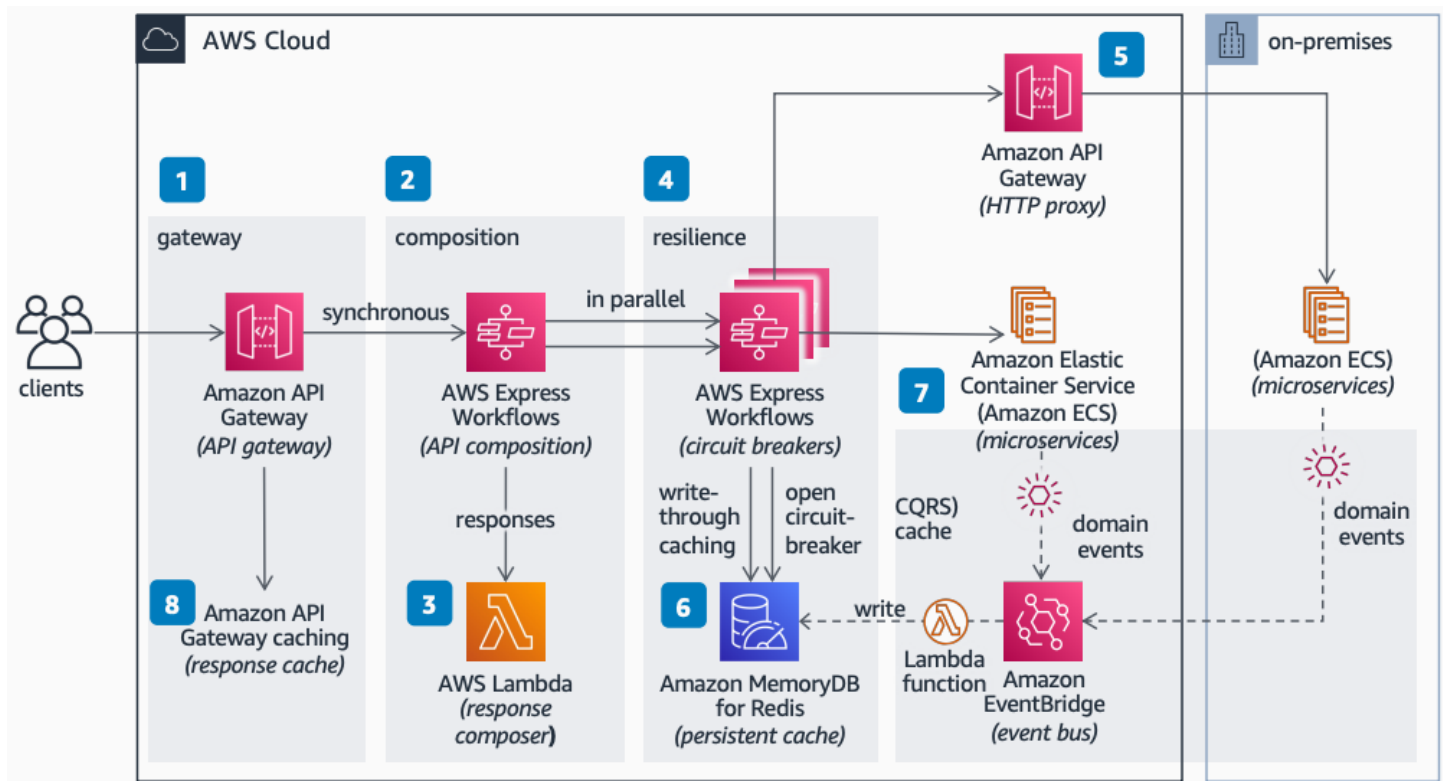
..... iv

AWS での並列 API コンポジション

公開日: 2022 年 5 月 17 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャは、複数のダウンストリーム API エンドポイントを並列または順番に呼び出して、単一の集約レスポンスを作成する方法を示しています。[AWS Step Functions](#) Express Workflows を使用してパラメータ化された汎用サーキットブレーカーワークフローを構築し、コマンドクエリ責任分離 (CQRS) を使用して永続的な結果整合性キャッシュを維持します。

AWS での並列 API コンポジション



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. [Amazon API Gateway](#) を使用して API ゲートウェイを作成し、クライアントが同期ウェブリクエストをマイクロサービスに送信できるようにします。
2. Step Functions Express ワークフローを使用して、複数のマイクロサービスを同時に呼び出す並列ステップを持つワークフローを作成します。
3. [AWS Lambda](#) 関数を使用して、ダウンストリームマイクロサービスからの複数のレスポンスをクライアントの単一の集約レスポンスに構成します。

- パラメータ化されたネストされた Step Functions Express ワークフローで構築されたサーキットブレーカーを使用して並列リクエストを処理し、耐障害性を向上させます。
- API Gateway を使用して、オンプレミスのマイクロサービス呼び出すときに HTTP リクエストをプロキシします。
- Amazon MemoryDB for Redis データベースを作成して、[書き込みスルーキャッシュパターンを使用してマイクロサービスレスポンスをキャッシュします](#)。ダウストリームマイクロサービスが使用できなくなったり、レイテンシーがしきい値に達すると、回路は閉じてすべてのレスポンスをキャッシュから直接読み取ります。
- CQRS パターンを使用して、キャッシュされたデータをダウストリームマイクロサービスからのドメインイベントで補完します。[Amazon EventBridge](#) でイベントバスを作成し、Lambda 関数でイベントを処理して、ドメイン集計を MemoryDB に保持します。
- API Gateway レスポンスキャッシュを有効にし、各リクエストタイプに従ってtime-to-live (TTL) 値とフィルターを調整してパフォーマンスを向上させます。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 5 月 17 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。